



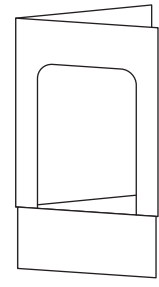
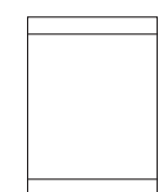

ダンボール迷路スタンダード 説明書

△ 組み立て・使用の際の注意 組み立ての前にお読み下さい

- 組み立て時には必ず軍手などの手袋を着用し、ケガをしない様に十分にお気をつけて下さい。
- 火または水に絶対近づけないで下さい。
- 極端な高温・低温または、高温低温などの環境下で使用すると急速に劣化する恐れがあります。
- 設置作業時に転倒しないよう十分ご注意ください。
- 設置は確実に行って下さい。設置がしっかりと行われていないと、本製品が転倒するなどトラブルの原因となる可能性があります。
- 本製品は屋内の風が吹き込まない場所でご使用下さい。

内容品

マス数	テープ/本	パッド/枚
25	1	20
50	2	40
75	3	60
100	4	80
125	5	100
150	6	120
175	7	140
200	8	160
225	9	180
250	10	200
275	11	220
300	12	240

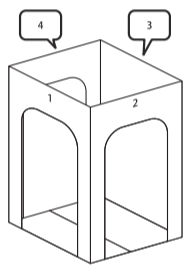
 ■テープ
 ■貼り紙
 ■マス
 ■パッド
 ■組立説明書(本紙)

組み立ての前に

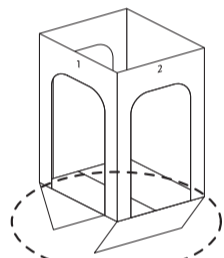
ダンボール迷路スタンダードは、3つの面に通路(穴)が開いています。マスの並べ方とパッドの組み合わせで迷路を組み立てます。

マス数に関わらず、作業は5人以上で行うことを強くおすすめします。

必要最低量のテープが付属していますが、作業者の人数分のテープをご用意いただくことでより作業時間が短縮できます。



各面には数字が印刷されています



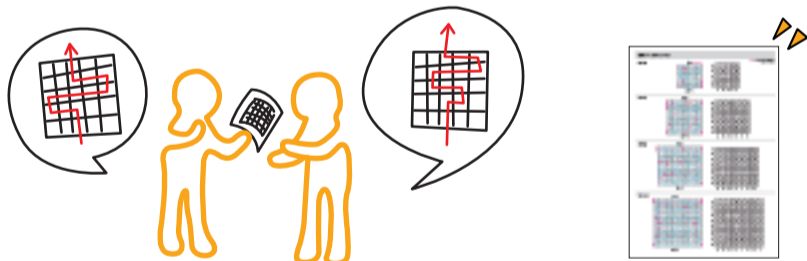
下部分をフラップと呼びます

設置作業

①コースレイアウトを決める

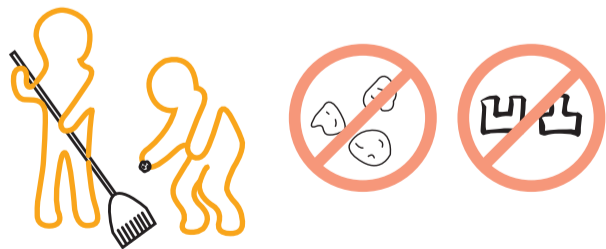
方眼紙などを使いコースレイアウトを作成します。マスの各面には1～4の番号が印刷されています。コースレイアウト図にスタート側を向く面の番号を書き込んでおくことで現場で混乱することなくマスを並べることができます。

付属の参考コースレイアウト図をぜひご活用ください。



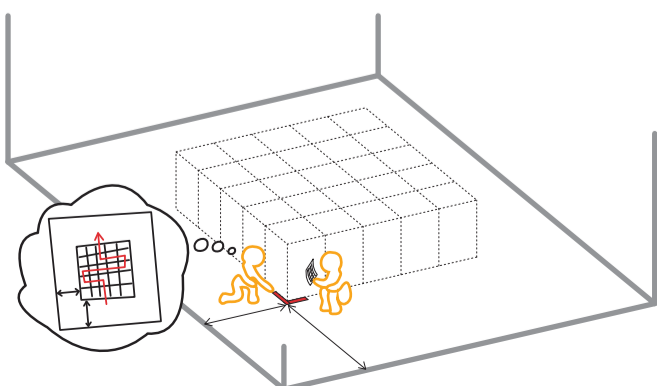
②床をそうじする

迷路は凹凸がなく、乾いた床面に設置してください。事前に清掃を済ませ、砂利や水気は取り除いてください。



③設置位置を決める

迷路は連結させると重さと摩擦で移動することができなくなります。作業前に設置位置を決め、養生テープなどで床に印を付けておくことで迷わず作業が開始できます。



④役割分担で作業を進める

作業者を・仮置き役、・連結役、・底貼り役に割り振ります。



○**仮置き役**: マスを広げてフラップを内側に折り、スタート位置側からだまかにマスを仮置きしていきます。この時点ではマスの方向は問いません。人が通れるくらいの隙間を開けておくことで作業がしやすくなります。



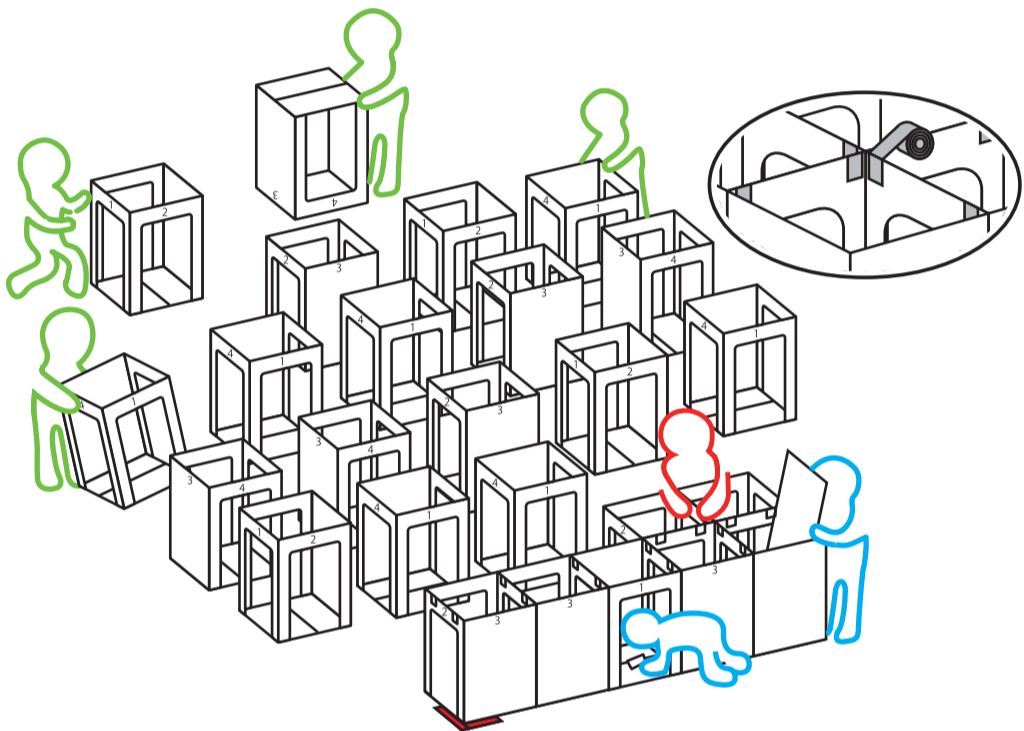
○**連結役**: コースレイアウト図を参照しながら予め決めておいた設置位置にマスを移動し、クラフトテープでマス同士を連結して本設置します。マスを並べる方向はコースレイアウト図上の番号とマスに印刷された番号を照らし合わせることで瞬時に判断ができます。パッドが必要な箇所にはこの段階で取り付けます。コースレイアウト図は首から提げておくことで便利です。



○**底貼り役**: 本設置が終わったマスの中へ入り、遊戯中にフラップが跳ね上がったり、ずれて動かないように底面をテープ止めします。パッドの取り付けの補佐も行います。

キットには最低数のテープしか付属していません。作業者の人数分のテープをご用意いただくことでより作業時間が短縮できます。

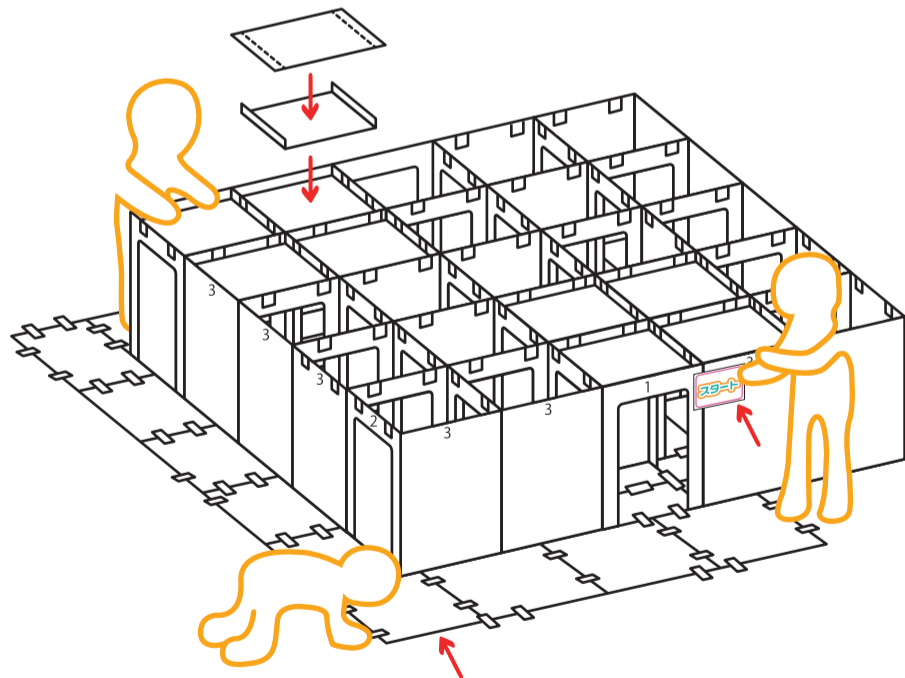
手際きの人員は遅れているパートを適宜手伝い、すべての作業を同時進行してください。



⑤付属品を使う

パッド: マスの上部を塞いでトンネルを作ったり、床に敷いて入口と出口を繋ぐ渡り廊下、くつ脱ぎ場所、手荷物置き場を作ることができます。

貼り紙: 会場の雰囲気に合わせてスタートとゴールの貼り紙を選んで貼り付けます。自作の貼り紙を作るのも◎。



楽しく遊んでもらうために

①手ぶらで入る

手荷物やリュックサックがダンボールに当たると迷路が破損してしまいます。物置き場を設けるなどし、手ぶらで迷路に入るように徹底してください。

②走らせない

迷路の中で競争、鬼ごっこ、かくれんぼ、タイムトライアルを始める子供が必ず現れます。事故や迷路の破損に直結するので監視と取締を行ってください。

③自作の貼り紙をする

迷路内にお化けの絵を貼ってお化け屋敷を演出したり、クイズの問題を貼って謎解きをしたり、スタンプを置いてスタンプラリーをすることもできます。

④コースを変化させる

コースに慣れてしまったり、飽きられてしまったときは、スタートとゴールをひっくり返したり、パッドで塞いでいた箇所を開いて別の場所を塞ぐことで手取り早くコースを変化させられます。